第 438 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

『軸を定める』～『真摯なる姿勢』＆『柔和な心』～

2026 年 10 月 30 日 定期的な病理組織診断業務に赴いた。『病理組織診断』は『顕微鏡を見て病気を診断する ＝森を診て木の皮まで診る』実践である。 誤診は許されない厳粛な場である。 筆者にとっては、癌研時代からの病理医の原点で、『丁寧な観察力の修練の場』であり、『病理医は生涯書生』を実感する日々である。

10 月 31 日は【早稲田大学エクステンションスクール中野校 ジャンル 人間の探求 講座『がんと生きる哲学：医師との対話を通して「がん」と生きる方法を考える』】に赴く。 講座のテキストは、『新渡戸稲造　壁を破る言葉　逆境に立ち向かう者へ　40 のメッセージ』(画像)で、今回は２章(下記)を 受講者に音読してもらいながら進める。 音読を担当される『森川美智(可愛らしいキリン)氏 ＆ 小暮信子(優しい目をした馬)氏 ＆ 今村明珠砂（ぴーなっつコアラ)氏 ＆ 岡村 實(かけっこ大好きオカピ)』は、難しい漢字の音読練習を徹夜でされることであろう。

17 節『いつもニコニコしている人は偉大である』『担当者 可愛らしいキリン』
18 節『「柔和な心」が幸福を引き出す』『担当者 優しい目をした馬』
19 節『 「軸」を定めることが人生の質を上げる』『担当者 ぴーなっつコアラ』
20 節『本当に大事なものは、“取るに足らないもの”の中にある』『担当者　かけっこ大好きオカピ』

７月 20 日『森川美智(可愛らしいキリン)氏 ＆ 小暮信子(優しい目をした馬)氏 ＆ 今村明珠砂（ぴーなっつコアラ)氏 ＆ 岡村 實(かけっこ大好きオカピ)』と５人で『東久留米ジョナサン』で『編集会議』が持たれた。 そして、【『がんと生きる哲学』記念誌：『使命と役割に気づく』～ 逆境からの学び ～ 】(画像)が完成されることになった。 皆様の『真摯なる姿勢 と 速効性と英断』には、ただただ感服する。10 月 31 日の講座後『森川美智(可愛らしいキリン)氏 ＆ 小暮信子(優しい目をした馬)氏 ＆ 今村明珠砂（ぴーなっつコアラ)氏 ＆ 岡村 實(かけっこ大好きオカピ)』らが、中野セントラルパークタワーで『記念誌完成祝賀昼食会』が企画されるようである。

【早稲田大学エクステンションセンター中野校講座は、2014 年の開設以来、12 年以上の長きにわたり当センターの教壇に立ち続け、受講生の心に寄り添う 素晴らしいご講義を 届けていただいていますこと 深く感謝と敬意を申し上げます。】との『心温まる励まし』の文章を事務局の方から頂いた。 大いに感動した。



「使命と役割」に気づく

～逆境からの学び～



早稲田大学エクステンションセンター　中野校

「がんと生きる哲学」講座　樋野興夫先生

